

Kansai University Psychological Research

- Kazuaki SHIMIZU** (*Faculty of Sociology, Kansai University*)
Item Analysis Using the Correlations between Items and Latent Variable:
Revisiting the Relationships among Factor Loading, Factor Structure,
and Factor Pattern 1
- Rikuko SEKIGUCHI** (*Faculty of Sociology, Kansai University*)
Phenomenological and Subjective Properties Associated with Remembering
Autobiographical Memories: Investigation by the Subjective Properties Questionnaire
of Autobiographical Episodic Memory. 7
- Kazuaki SHIMIZU** (*Faculty of Sociology, Kansai University*),
Norihiro MIHO, Hiroaki KONDA (*Graduate School of Psychology, Kansai University*),
Yoko HANAI (*Graduate School of Sociology, Kansai University*) **and**
Rie YAMAMOTO (*Job Stress Research Laboratory (Non-Profit Organization)*)
Modeling of Psychological Change: Latent Difference Score Model for Three Wave
Longitudinal Data 19

関西大学心理学研究

第2号 2011年3月

清水和秋

- 項目と潜在変数との相関を使った項目分析
—— 因子負荷量, 因子構造そして因子パターンと関係の再考察 —— 1

関口理久子

- 自伝的記憶想起に伴う現象学的・主観的特性について
—— 自伝的エピソード記憶の主観的特性質問紙を用いた検討 —— 7

清水和秋・三保紀裕・紺田広明・花井洋子・山本理恵

- 心理的变化のモデル化
—— 3回の縦断データを対象とした潜在差得点モデル —— 19

編集委員会

比留間太白* 池内裕美 雨宮俊彦 (*編集委員長)

編集規程

1. 本誌は、関西大学心理学研究科の機関誌として、年1回発行する。
2. 本誌の編集は、関西大学心理学研究科内にある編集委員会の責任のもとに行われる。
3. 本誌は、原則として関西大学心理学研究科に所属する教員ならびに教員と連名の研究者の論文の掲載にあてる。ただし、第一著者となれるのは、原則として関西大学心理学研究科に所属する教員、大学院生、および研究生に限る。
4. 論文は未公開のものに限る。ただし、学会や研究会等での発表（口頭、ポスター、講演等）は除く。
5. 論文は、編集委員によって審査され、その掲載の可否が決定される。
6. 論文の原稿の長さは、表題、要約、図表・注・文献を含め、原則として、日本語論文は刷り上がり10ページ以内、英語論文は6500語以内とする。
7. 論文の構成および表記は、日本心理学会編「執筆・投稿の手びき2005年改訂版」に準拠したものとする。
8. 論文の印刷に関し、特に費用を要するものは執筆者の負担とする。
9. 執筆者（第一著者）に対しては、抜刷20部を贈呈する。それ以上は執筆者の負担とする。
10. 本誌に掲載された論文の著作権は関西大学心理学研究科に帰属する。ただし、内容についての責任は著者が負う。